説明的文章 指示語の内容の捉え方

もともとの自然の姿が森林であるわが国で、保存すべき自然の第一は森林、それも原生林です。原生林とは、いままでまったく人手が入らず、最近台風や山火事などでもこわされていない森林をいいますが、わが国には本当の意味の原生林はほとんどありません。長い歴史の中で、人々がなんらかのかたちでかかわってきたからです。しかし、そ‖‖れに近いものはまだ残されています。現代に生きるわれわれは、将来の人々のためにも①こうした森林を残していかなければなりません。

自然の「保存」は、自然の一部をまずとっておくことだと考えるとよいでしょう。保存地は、人が利用しない土地ではなくて、「保存する」という利用をしているところなのです。

自然保護という言葉がありますが、これは②珍しい自然をそっとしておくことだけではありません。保全と保存がその大きな二本の柱であるほか、病気や虫、気象の害、浸食や山くずれなどの害を防ぐこと、現在の自然の姿を保たせること、こわれた自然を回復させることなども、自然保護という言葉の中には含まれているのです。

二部屋のアパートに住む家族を考えてみてください。同じ部屋が食事にも、勉強にも、寝室にも、お客の接待にも使われます。

せまいうえに人口の多い日本の森林の使い方も同じです。森林にはいろいろな働きがありますが、せまい国土の中で、木材用の森林、水源用の森林、レクリエーション用の森林、風景のための森林…というように、一つの働きだけを考えた森林を別々にもつことは無理です。さいわい、森林はいくつもの働きをかねそなえていますから、それをうまく使って一つの森林からいくつもの効果を引き出したいものです。③これが多目的利用というやり方です。

（只木良也『森林はなぜ必要か』小峰書店 による）

指示語の読み取り

説明的文章では、言葉や内容の繰り返しを避けるために**指示語**がよく使われる。指示語が表す内容は、次のようにして捉えるとよい。

①指示語を含む文に注目し、指示語の内容を押さえる。

②指示語が指す内容を探す。

・多くの場合、指示語の指す内容は指示語の前にある。

（例）私は毎日写真を撮る。それは私の喜びも悲しみも記録している。

・後に続く内容を指す場合もあるので注意する。

③探した内容を指示語に当てはめて、意味が通じるか確かめる。

（例）写真は喜びも悲しみも記録している。

例題

——線「それ」が指す内容を本文中から五字以内で書きぬきなさい。

確認テスト 本文を読んで、問いに答えなさい。

(1) ——線①「こうした森林」とはどのような森林か。解答欄に当てはまるように文章中の言葉を用いて八字以内で答えなさい。

いる森林　［　　　　　　　　］　姿で残されて

(2) ——線②「その大きな二本の柱」とあるが、これが指す内容となるように、（　　）に当てはまる言葉を本文中から五字以内で書きぬきなさい。

（　　）の大きな二本の柱

(3) ——線③「これ」とは何か。適当なものを選びなさい。

ア 森林にはさまざまな働きがあるが、せまい日本では一つの働きの森林を別々にもつのは難しいこと。

イ 森林がかねそなえている、木材を生み出す、水源となる、などのいくつもの働き。

ウ 森林が多様な働きをもつことを利用し、一つの森林からさまざまな効果を引き出すやり方。

［　　］